

2018年12月2日

## 福音書からのメッセージ

このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の 때가近いからだ。

(ルカによる福音書 21 章 28 節)

降臨節を迎えました。降臨節第 1 主日は、教会の暦の上では一年の始まりです。しかし今日読まれた福音書は、少し恐ろしさも感じてしまいます。地上では海がどよめき荒れ狂う、天体が揺れ動かされる。そのように書かれたところだけを心に留めてしまうと、心がどんより暗くなってしまう。しかしイエス様はこの話の中で、このような言葉も語られておられます。

「身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の 때가近いからだ」。

解放の時とは何でしょう。この言葉を理解することで、今日の箇所の意味が少しわかってくるのかもしれませんが。解放という言葉調べてみました。「代価を支払って奴隷や捕虜を買い戻し、自由にすること」という意味で、この時代には使われていました。この時代、借金のために、また生きるために、奴隷になってしまった人もいたようです。その人が代価と引き換えに自由になることを、解放と言いました。

そして新約聖書の中では、「イエス様によってもたらされる罪からの解放」という意味が加わっていきます。イエス様はわたしたちの罪を贖うために、十字架につけられました。イエス様という代価が支払われたことで、わたしたちは罪の中から解放されたのです。

今日から始まる降臨節では、紫の祭色の中で、礼拝をおこないます。紫という色の中で、心を静め、自分と向き合い、降誕日を待ち望みます。現実の世界に目をやると、とても不安になります。世界各地で起こる地震などの自然災害。大きな山火事もあり



ました。テロや紛争も終わることを知りません。子どもたちが大きくなったときに、果たして彼らは笑顔の中で生きていくことができるのか、とても心配です。毎日のように起きる殺人事件、交通事故。なぜこんな

なことが起こるのか、問い続けるたびに、心が深い闇に覆われてしまいます。

自分自身を振り返ってみてもそうです。神さまの前に正しく生きることのできない日々。ちょっとしたことで怒り、孤独を感じ、生きるのに疲れ、そして闇の中をさまよってしまう。様々な出来事の中で、わたしたちは暗闇に落とされてしまいます。そのときに、人々はおびえ恐ろしさのあまり気を失うだろうとイエス様は言われます。しかし、「でも」とイエス様は続けます。でも、あなたがたは身を起こして頭を上げなさいと命じられているのです。

暗闇の中にいると、怯えます。うろたえます。しかしそのようなわたしたちを暗闇から解放するために、イエス様は来てくださいます。身を起こして頭を上げ、目を向けたその先に、小さな光がきつと見えます。わたしたちに与えられた確かな約束であるその光は、必ずわたしたちを包み込んでくれるのです。

### 桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>